OMAGARI-MINAMI J.H.S.
自律 貢献 創造
夢と志く 協働的に探求し 持続可能な社会の作り手となる
※HP随時 更新しています

朝風

令和７年度
学校報No.15
令和７年10月24日
大仙市立
大曲南中学校

後期の始まりにあたり

10月17日（金）から令和７年度後期の学校生活が始まりました。生徒は前期の成果や反省を踏まえた上で、後期の目標を考え、落ち着いて授業や部活動に取り組んでいます。17日の「前期・後期切替式」では「課題意識をもって勉強や諸活動に取り組んでほしい」「失敗や間違いを恐れず挑戦してほしい」という２つのことを生徒にお話ししました。各学年代表の生徒からは「部活動で悔しい思いをしたので練習内容をあらためて考え、諦めないで努力したことが新人戦での好成績につながった」「計画通りに家庭学習に取り組むことが苦手だったけれども、努力を継続することで好成績につなげることができた」「部活動と勉強の両立は大変だったけれども、仲間に支えられて乗り越えることができた」などの発表がありました。

後期は、３年生はいよいよ進路を決める時期ですし、１・２年生は学習面や部活動、その他の面で力を高める時期になります。後期も、生徒が自分で自分を律して、たくましく成長していくことができるように学校を運営してまいりたいと思いますので、ご支援ご協力をお願いします。

前期・後期切替式での生徒発表

サスティナブルな社会を考える

20日（月）、１年生が「うちエコ診断」の授業（講師：あきた地球環境会議の工藤　さん）に、２年生が「エコシティを考えよう」の授業（講師：　　建築事務所の松塚　　さん）に臨みました。どちらの授業でも、環境汚染や地球温暖化、エネルギー枯渇の課題を踏まえて、これからどんなことを考えて世の中を生きていくべきなのか、深く、楽しく考える授業でした。当日は東京の目白大学の先生も見学に訪れました。多くの先生が、南中生の真剣な授業態度や豊かな発想力、ＳＤＧｓに対する関心の高さに感心していました。本校では、豊かな経験をもち実社会で活躍している人材を活用して学習を進めることは、生徒の生きる力の育成にとって有効な取組と考えています。来週はキリバスの中学生とオンラインで交流します。

令和７年度
ふるさと大仙博士
グローバルジュニア市長表彰

令和７年度
秋田県環境大賞
大曲南中学校
（平成22年以来２度目の受賞）

表彰状

環境大賞（資源循環部門）

大仙市立大曲南中学校 様

貴校は環境学習や地域連携による体験活動を通じて持続可能な開発のための教育を実践し環境教育の推進に取り組まれ県民の模範と認められましたのでこれを表彰します

令和七年十月十一日

秋田県知事 鈴木健太

熊の出没にご家庭でも十分注意してください。山里から離れた市街地にも出没し、人的被害が出ています。